

## 信心の力で人生を勝ち開け

わが師・戸田先生は、よく言われました。「私は、信心のこととなると、強情なまでに辛抱強いんだよ」と。

広宣流布は、巖窟王の如き執念をもって、たゆみなく挑戦を続ける大闘争です。

わが学会の闘士が、悪口罵詈の渦巻く中、どれほど忍耐強く勇気と誠実の行動を重ねて、わが国土を変えてきたか。それは、まさしく「三変土田」に通じます。

三変土田—この娑婆世界の变革は、なぜ、三回にわたって行われたのか。

この点について天台大師は、娑婆世界を浄め、「方便土」「実報土」そして「寂光土」にした、と意義づけています。

「方便土」とは「二乗」などが住む世界、「実報土」は「菩薩」が住む世界、「寂光土」は「仏」が住む世界です。

天台はまた、「三惑」という惑いを破ること、すなわち一回目は「見思惑」を破ること、二回目は「塵沙惑」を、さらに三回目は「無明惑」を破ることだ、とも論じています。この三惑に打ち勝って、仏の境涯を顕す象徴とするのです。

ともあれ、大事な点は、釈尊が、間を空けずに、二度、三度と、連続して国土を変え続けたことにあります。第二波、第三波とうねりを起こし続けてこそ、偉大な变革は成し遂げられる。

## 人間革命のドラマ

実は、もう一步深く日蓮仏法から見れば、この挑戦を起こした瞬間、生命は大变革を遂げています。一念が深く定まれば、三惑は瞬時に打ち破られるからです。だから国土も変わらないわけがないのです。

三変土田とは、狭い心のカラを決然と破る「人間革命」の挑戦そのものなのです。そのために、妙法を朗々と唱え、師の心をわが心として広宣流布の行動を勇敢に開始するのです。「いつか」ではない。「今この時」が勝負です。

## 人類を結ぶ大瑞相

「文明論」の観点から言えば、三変土田は人類文明の共和の象徴です。十方世界のそれぞれにいた仏が集まり、一つの仏国土の中に遍満し、融合する。虚空会の舞台は、人種や民族、文化や国土の違いを超えて結び合う理想郷です。

また「生命論」から言えば、妙法は大宇宙の法則です。私たちが妙法を弘めるところ、全宇宙の諸仏・諸菩薩が喜び来って、必ず、その人を讃え守護する。三変土田から始まる虚空会の説法は、この約束といってよい。

この法理を、現実の荒れ狂う世界で展開しゆくのが広宣流布です。広布に生き抜くことは、貪・瞋・痴という三毒に満ちた社会を、仏国土に大転換しゆく三変土田の戦いなのです。

さらに三変土田を「境涯論」から論ずれば、釈迦・多宝の二仏が、いかに無量無辺の徳を具えていたかを示しています。

三変土田は、三世分身の諸仏の統合の原理でもある。全宇宙の仏菩薩が、法を求め、師を求めて、はるばる娑婆世界に來下してきたのです。法華經を説く仏とは、それほどまでに広大無辺な慈悲と英知に満ちた偉大な境涯なのです。

それは、根底にある妙法の偉大さです。そして、妙法に生き抜く創価の友も、この境涯を開いていけるのです。

今、世界中から多くの指導者が続々と、創価の城に來訪されております。中国をはじめアジア各国、そしてキリスト教・イスラム教・ユダヤ教など諸文明を代表する賓客が、創価の哲学と運動に、心から共感されております。妙法を根幹とした我らの人間主義に深い共鳴を示され、連帯していかれるのです。

世界中の都市からも、最高学府からも、名誉称号をお贈りいただいております。

すごい学会になりました。この姿こそ、人類を結ぶ三変土田の大瑞相ではないでしょうか。

**粘り強く現実変革に挑戦を！**

## 満々たる生命力で

さらに、全国の津々浦々の学会の集いにも、地域の名士の方々が喜んで参加される時代になりました。我ら師弟の大城は、まさに千客万来です。皆様方のお力で、「妙法独り繁昌せん」(御書502ページ)の御金言は現実のものとなったのです。

わが支部、わが地区、わがブロックで懸命に友を励まし、心を変えゆく対話。その真剣な戦いは、すべて三変土田の栄えある勝利の劇です。小さな地域であっても、大変な地域であっても、ここがわが今世の黄金の晴れ舞台である——この一念髓喜の心が一切を決めるのです。

戸田先生は言われています。

「日本国中に、さかんなる力士のごとき人々が充満するならば、生産に、復興に、文化に、芸術に、その最高度の能力を発揮するがゆえに、国土の再建は、うたがうべくもない」

「さかんなる力士のごとき」とは、一人一人が満々たる生命力で躍動している様子です。

「人間革命」に挑み、幸福の実証を勝ち示している姿です。

こうした勝利の活力が充満すれば、社会を大きく変えていける。やがて世界の宿命をも大転換していけるのです。

私は戸田先生の不二の分身となって、死に物狂いで戦った。正義の叫びで、一人一人の心を一変させていった。その地その地に、師匠の大生命を打ち込む決心で戦い抜きました。

仏法の眼で見れば「娑婆即寂光」です。国土も「心の一法」から出来る。わが一念から起こり、わが一念に収まるのです。

地震や台風や冷害などの災害に見舞われた地域の方々に、私はこの三変土田の法理を語り、共に祈ってきました。

阪神・淡路大震災をはじめ、北海道、中越、東北、北陸などの大地震。長崎、三宅島などの噴火。また沖縄、九州、四国、中国、中部など豪雨による被害……。どの地でも、学会の同志の献身的な救援活動や復興の努力が希望と勇気を広げ、地域の結束を強めました。「わが町の復興は、学会があればこそ」などの感謝と感動の声が、私のもとにも数多く寄せられてきました。皆様は、見事に変毒為薬してこられたのです。

中国の高名な歴史学者であられる章開沅(しょうかいげん)先生(華中師範大学元学長)は、私との対談で、中国が雪害や大震災などの苦難を乗り越え、本年、北京オリンピックを大成功させたことにふれ、こう述べておられました。

「温家宝総理が被災地の人民のために『多難興邦(難が多いほど奮起して国を興そう)』と揮毫したように、震災は全国人民、ひいては全世界の華人(中国人)の心と力とを、祖国の復興という一点に向かわせました。全国の人民が奮起し、心をつにして困難を乗り越えようとした結果、千年に一度あるかないかの巨大な災難に打ち勝つことができました」と。

民衆の「心の力」は偉大です。それを無限に引き出す哲理が、一念三千の法理です。一人一人が地涌の底力を出せば、三世十方の仏菩薩にも勝る力が涌現する。断じて宿命を転換するのだ！ この国土世間を三変土田し、安穩にして天人が充満する楽土を必ず建設するのだ！——これが大聖哲の御確信です。

## 必ず打開できる！

今、日本も世界も、大変な経済不況の中にあります。しかし、仏法では「一心の妙用」（一念の不思議な力）を教えている。断じて負けない信心の一念があれば、必ず必ず打開できることを確信していただきたいのです。私も妻も、全同志の皆様方が厳然と守りに護られ、一人ももれなく勝ち栄えていかれるよう、一心不乱にお題目を送っております。

仏国土を開く儀式は、二度、三度と繰り返されて成就しました。三変土田の挑戦は、粘り強く、繰り返すことが大切なのです。苦しいときこそ、「強盛の大信力」（御書 1 1 1 8 ページ）で、祈りに祈り、何度でも挑戦し、断じて断じて未来を勝ち開こうではありませんか。

詩聖タゴールは謳いました。

「国は人間が創造したものです。国は土からできているのではなく、人々の心でできています。もし人間が輝いていれば、国は顕現されます」（我妻和男訳）

今や妙法は世界 1 9 2 カ国・地域に広がりました。創価の運動は「人類模範の善の連帯」と期待されております。私たちの“地涌の三変土田”が、世界を大きく動かしつつあるのです。

広宣流布の舞台は新段階に入りました。大聖人の仰せ通り「二陣三陣つづきて」（御書 9 1 1 ページ）、新しい人材が勇み立つ時です。これこそ「青年・勝利の年」です。

全国、そして世界の各地で、創価の師弟の旗を掲げ、社会に貢献しゆくわが同志こそ、誉れも高き三変土田の仏の大打進なり！ 私は心からこう賞讃したいのです。

池田名誉会長講義 御書と師弟 第 1 回 三変土田 下〔完〕